

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンターでは、下記研究機関から診療情報等の提供を受けて、下記の共同研究課題の実施に利用しています。

この共同研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本センターでの研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われる場合にも、下記の本センターでの研究内容の問い合わせ担当者、もしくは参加されている各研究機関の研究責任者または問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 外来抗菌薬使用状況の指標に関する多施設共同研究

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：国立国際医療研究センター 国立感染症センター総合感染症科医長
早川 佳代子

本研究に関する問い合わせ先：国立国際医療研究センター AMR臨床リファレンスセンター 主任
研究員 遠藤美緒

電話：03-6228-0062（応対可能時間：平日8時30分～17時30分）

[提供を受けている診療情報等の由来者（研究対象者）]

以下に示す各医療機関において、2016年1月～2025年12月までの間に外来を受診された方

1. 国立国際医療研究センター（理事長 国土 典宏）
2. 岐阜大学医学部附属病院（病院長 秋山 治彦）
3. 中村記念病院（理事長・院長 中村 博彦）
4. 市立函館病院（病院長 森下 清文）
5. 北海道大学病院（病院長 渥美 達也）
6. 国立成育医療研究センター（理事長 五十嵐 隆）

[提供を受け、本センターで利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、処方された抗菌薬、抗菌薬使用量、抗菌薬使用日数、抗菌薬使用件数、外来患者数、薬剤処方件数、など

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究： 無 ）

薬剤耐性(Antimicrobial resistance, AMR) は世界で最も重要な公衆衛生課題のひとつであり、AMRに関連して米国では年間3.5万人以上、欧州では年間3.3万人が死亡していると推定され、2050年には関連死亡数が世界全体で年間1,000万人に達すると予測されています。

医療機関における抗微生物薬の使用量は、AMRと密接な関係があることが報告されており、AMRと抗菌薬の使用量、特に、医療機関における抗菌薬の使用量はAMRと密接な関係があることが報告されています。日本の抗菌薬使用状況では、外来での使用が全抗菌薬使用量の約9割を占めており、病院に比べ診療所での使用量の方が割合としては多くをしめてはいますが、病院においても、外来抗菌薬の使用は病院における全抗菌薬使用量の約7割を占めています。

ただし、現状では多施設の外来抗菌薬の使用状況を評価する際の明確な指標は明らかではありません。本研究では、包括医療費支払い制度方式（DPC）において、厚生労働省へ報告しているDPC調査の診療報酬に関するデータから多施設における外来抗菌薬の使用状況を集計し、より適切な外来抗菌薬の評価指標について検証します。適切な評価指標を見出すことにより、AMR対策に関して本邦の病

院における外来抗菌薬の処方動向の施設横断的な評価と適正使用の推進が期待できると考えます。

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究の実施許可日より 2028 年 3 月 31 日までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[国立国際医療研究センターにおける機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター 国立感染症センター 総合感染症科医長 早川 佳代子

研究内容の問い合わせ担当者：国立国際医療研究センター AMR 臨床リファレンスセンター 主任研究員 遠藤 美緒

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日 8 時 30 分～17 時 30 分）

作成日： 2024 年 10 月 9 日

第 2.1 版